

八雲中学校区義務教育学校建設工事にかかる説明会（要点記録）

日時:令和7年 11 月6日(木)19:00～20:00

場所:八雲中学校 体育館

Q1.今年の3月に実施された当該事業に関する近隣説明会の内容が、市ホームページに未掲載のままです。5月に入札不調になった時点で工期の延長やスケジュール変更が生じることが予想されたにもかかわらず、速やかに公表しなかったのはなぜですか。

⇒再入札の予定や、延期後のスケジュールの決定に時間を要したためです。また、不調要因の分析に加え、入札参加資格のある各業者へのアンケート調査やヒアリングを実施したこともあり、再入札の実施までに相応の時間を要しました。これからはより早い段階で状況を公表できるように改善を図ります。

Q2.入札が不調となった原因について、どのように分析していますか。また、再入札がうまくいく見込みはありますか。

⇒入札不調の可能性は、本事業に限らず、一般的な契約でも存在します。近年は、民間需要が高く、学校施設の入札が不調になる自治体が全国的に増加しています。今回の再入札にあたっては、業者アンケートやヒアリングの結果を踏まえ、複数の工夫や見直しを行いました。(資料 P5 参照)

なお、増額分には、工期延長に伴う警備費・重機のリース代や、警備員の人件費の上昇分などが含まれており、設計自体を修正したものではありません。

Q3.令和6年度から解体工事も行い、工事の騒音や振動に対して、地域として協力をしています。前回の入札が不調に終わった原因として、不可抗力の類もあったかもしれないが、工期や見積期間のことなど、発注者として対応可能な課題も明らかになったということであれば、市にも問題があったのではないですか。

⇒開校が1年遅れたことについては、市としても大変心苦しく思っています。前回の入札不調では技術者不足など社会的要因もあったと考えていますが、工期や見積期間等、発注者としてより適切な対応を取るよう改善しました。

Q4.市及び国交省の工事工程を教えてください。

⇒入札が予定どおり応札されれば、国交省の高規格堤防工事と市の学校建設工事は並行して行います。現在の工事は11月20日で完了予定です。

【国交省より回答】

次の盛土工事等を施工する業者について、入札手続中なので、お示しする工程は限られますが、市の工事と並行して工事を進めていきます。施工業者が決まりましたら、施工計画等について地域に向けてお知らせしたいと考えています。

Q5.学校の工事と合わせて堤防の工事と同じように延びますか。

⇒【国交省より回答】

現時点でお示しできる工程は限られますが、市の工事と並行して工事を進めます。国の堤防工事は遅らせることはなく、進行中です。

Q6.前回の入札不調や、開校延期について、市としての認識と今後の対応は。

⇒開校が1年遅れることになり、子ども達や保護者の皆さまにご負担をおかけしたことを申し訳なく思っています。今後は地域住民に対し、速やかに情報が伝わるよう努めます。業者が決定次第、12月議会で議決を経て、契約締結予定です。その後、速やかに地元説明会を開催します。仮に再び入札不調となった場合も、ホームページやCOCOOでのお知らせを考えています。

Q7.今回の入札が不調になった場合、スケジュールはどのようになりますか。

⇒現段階で具体的なスケジュールをお示しすることはできませんが、複数の想定パターンを準備しており、不調になった場合にも迅速に次の行動に移れるよう備えています。

Q8.開校前の2～3月は非常に慌ただしくなると思いますが学習環境は確保されますか。

⇒教職員には物品の移動等で負担が生じますが、現在の八雲小・八雲中の校舎を活用して授業を継続する予定です。子ども達の学習環境に支障がないよう最大限の配慮を行いながら進めていきます。